# 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1/2

			- · · —	
キモノ DE	小樽			
小樽今昔	さんぽ			
令和3年9月 ~ 令和4年2月				
大正 14 年の小樽市街図と現代の地図をエリアごとに両開きで同時に比較確認できる冊子型のマップを制作。				
第一弾として市内中心部範囲(水天宮付近~小樽駅~北海製罐付近)のマップを作る。小樽の昔と今の地図を開きながら、小樽の変遷を肌で感じながら各自個別に着物で小樽を歩いて楽しんでもらうために作成。地図以外にも小樽の歴史や着物関連スポットを紹介し、着物を着ない小樽市民や小樽ファンの方にも充分興味を持ってもらう内容を目指す。また冊子を活用した市内を散策イベント、ワークショップを開催する。				
期待される効果としては冊子を利用した市内各所のツーリスト増加、本事業を参考例に、 冊子を活用した文化体験イベントや歴史的建造物を巡るまちあるきイベントなど、小樽に 置ける新しい着物ツーリズムの創出を期待します。冊子を手に取り「小樽の街並みの歴史 的変遷」をポイントに市内外から興味を持った人が集うことで、賑わいのある街になること を期待します。				
事業費	500, 000円	助成額	300, 000円	
9~1月 冊 1月~2月5 11月28日 同日(午後) 12月19日 1月8日 冊 2月11日	子型マップ(32 頁)「小樽今昔で <b>中旬</b> 冊子配布(予定) 1000 部 冊子(パイロット版)を使った間 小樽市指定歴史建造物で 小樽市指定歴史建造物にてき 子を使った着物で散策イベント 冊子を使ったガイド付き雪あか	な 対策イベント「 初心者向け をの着物ワー ト「小樽キモル りの路着物で	「小樽キモノ DE 坂道さんぽ vol.1」 着物の着用ワークショップ −クショップ ' DE 坂道さんぽ vol2」 で散策イベント実施	
	小 令 大型 第樽歩着冊 期冊置的を 事 9911同11月19	大正 14 年の小樽市街図と現代の地図を記して市内中心部範囲(水天宮付) 樽の昔と今の地図を開きながら、地図のあたいで楽しんでもらうために作成。地図の方冊子を活用した市内を散策イベント、ワークを活用した市内を散策イベント、ワークを活用した市内を散策イベント、ワークを活用した文化体験イベントや歴史であるが、できるが、ののの円のでは、できるが、ののの円のでは、できるできるでは、できるできるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるできない。できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるできない。できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるできるできるできない。できるできない。できるできるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるできるできるできないい。できるできるできないいいは、できるできるできるできない。できるできるできるできない。できるできるできるできるできないいいは、できるできないいは、できるできるできないいいは、できるできないいは、できるできないいいいは、できるできないいいいは、できるできないいいいは、できるできないいいいいいは、できるできないいいいいは、できるできないいいいは、できるできないいいいは、できるできないいいは、できるできないいいいいいいいいいいは、できないいいいいいいは、できないいいいいいいいは、できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	小樽今昔さんぽ  令和3年9月 ~ 令和4年2月  大正 14年の小樽市街図と現代の地図をエリアごとに可型のマップを制作。 第一弾として市内中心部範囲(水天宮付近~小樽駅で樽の昔と今の地図を開きながら、小樽の変遷を肌で慰歩いて楽しんでもらうために作成。地図以外にも小樽の着物を着ない小樽市民や小樽ファンの方にも充分興味子を活用した市内を散策イベント、ワークショップを開明子を活用した市内を散策イベントや歴史的建造物を設置ける新しい着物ツーリズムの創出を期待します。冊・的変遷」をポイントに市内外から興味を持った人が集を期待します。  事業費 500,000円 助成額	

## ◎事業の日程について

月日	内容	想定事業効果	事業効果
		(参加人数等)	(実績)
11月28日	冊子を使った散策イベント「小樽キモノ DE 坂道さんぽ 1」	20 名	17 名
11月28日	着物の初心者向けワークショップ	40 名	6名
12月19日	冬着物のワークショップ	40 名	3名
1月9日	冊子を使った散策イベント「小樽キモノDE 坂道さんぽ2」	20 名	4名
~2月中旬	冊子制作(~1月)、配布・設置作業	1000 部	1000 部
2月11日	冊子を使った着物で散策イベント	20 名	中止

### ◎事業評価について

### 1. 事業の目的の達成度

MAP のパイロット版を使った 12 月の散策イベントはほぼ想定数の参加があり、概ね達成できた。ただ 12 月・1 月のイベントが大雪や新型コロナウイルス流行による参加遠慮があったため、想定数を見込めなかった。2 月に予定していたイベントは新型コロナウイルス感染拡大による中止のため開催できなかった。

冊子マップは当初の予定より大幅に制作・配布時期がずれてしまい、これからの設置配布なので今後、効果検証していきます。クラウドファウンディングについては実施前に賛同者から個別に大口の協賛をいただき予定の金額を確保できたため、今回は実施を見送った。

#### 2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

散策イベントの参加者からは、「普段、知らずに歩いていた小樽の建築物や通り道が冊子を見ながら廻ることで、小樽の知らなかった歴史に興味を持った。」「今回開催したエリア以外でも同様の散策イベントを開催して欲しい」などの感想をいただきました。

#### 3. 今後の事業について

新型コロナウイルス感染流行のため冊子設置時期が遅くなってしまったため、春以降冊子を活用した散策イベントを随時開催していきたい。また初心者向けワークショップも着つけ教室も含めてもっと開催して欲しい声があったので「着つけ練習→そのまま着て小樽市内を散策」といったイベントや冊子内で紹介されている特定のスポットを使った SNS キャンペーンやポイントラリーを企画しています。

また今回紹介できなかったエリア(緑・南小樽・手宮方面)の冊子マップの制作を計画しています。

# 4.「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関しての要望事項等